

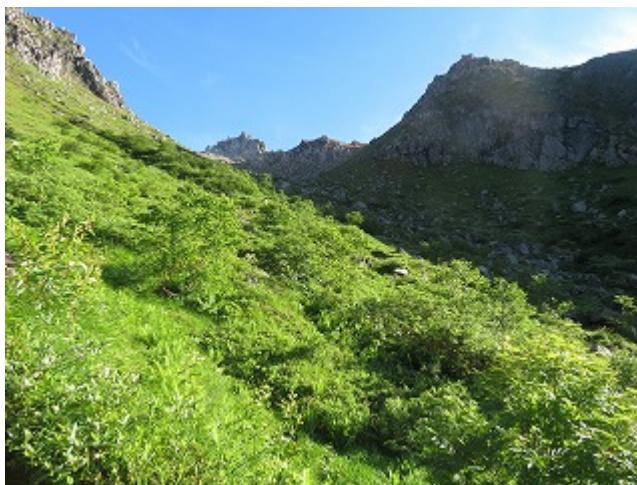
長泉麗峰山の会・山行報告書	文・伊藤	写真、動画・後藤
山行番. NO. 2089		
日 時 2025年07月19日(土) 晴		
山 域 北ア・焼岳北峰(2444m)		
コース 登山口4:20-桔梗ヶ原-下掘沢-北峰・南峰コル7:30-山頂7:43~58-桔梗ヶ原-登山口11:00 -「ともしび」温泉-「十字路」昼食-長泉18:00		
標高差 登山口約1600m~焼岳2444m=844m		
難易度 非常に困難 困難 やや困難 <b>レ普通</b> やや易しい 易しい		
<h2>行者の「法螺貝」に励まされ</h2>		
ど~が~ <a href="https://susono-reihou.babyblue.jp/00-69mp4.mp4">https://susono-reihou.babyblue.jp/00-69mp4.mp4</a>		
参加者 後藤、勝又、峰田、斎藤、伊藤=5名		

### 早朝登山は気持ち良い

3:00 起床。軽い食事を済ませ宿を後にした。狭く曲がりくねった旧安房峠道を上り、中の湯上の駐車場に着いた。車は既に満杯状態で左端にやっと停めた。車中泊の方も多いようだ。

活火山で「登山警戒レベル1」は確認済だが、念のためヘルメットを付け4:20出発。夕べは宿で寒かったが、今朝も「涼しい」でなく「寒かった」。真っ暗な中、ヘッドライトを点けて「人生初の早朝登山」だった。

リーダーの後を黙々と付いて行くが、なかなかの急登。1時間歩いたら辺りが明るくなってランプを消した。



早朝の山

空は朝焼けがキレイだった。早朝だったが、何人か抜いて行った。桔梗ヶ原で森林限界になり、上部を伺うと見えた!! 焼岳の北峰・南峰がクッキリと。感動と同時に「あそこまで上るんだ」の覚悟をした。

登山道の脇は緑多いが、花は見当たらない。このところの温暖化で花も開花が早いのか。観察したのは、ゴゼンタチバナ・コケモモ程度だった。



下堀沢上部

ゴロゴロした岩がイッパイの急坂を上って行くと、溶岩ドームがハッキリ見え、硫黄の臭いがプンプンしてきた。登山道脇から水蒸気が噴出していたり、手掛けたりの岩が熱かつたり「活火山」を意識した。



### 法螺貝行者に会う

頑張って上って行くと突然「ブオ～、ブオ～、ブオ～、ブオ～」と「法螺貝」の響きに驚いた。上を見る山頂の岩に白装束の行者？が立っていた。神々しい。

まだ修行中なのかパホーマンスなのか「法螺貝」の音は続き、励まされたりして、上部のガレ場に着いた。テレビで見たことがある、岩肌が硫黄で黄色くなった水蒸気の噴出口がハッキリ見えた。ニオイも強烈だった。「どうか噴火しませんように」と思いながら岩をよじ上ったら、先ほどの白装束の行者が居た。岐阜から来たといった。

夜1時に出発し、山頂に3時着という。ご来光を見るに早すぎたようだ。さすがは健脚だ。リーダーがリクエストしたら「法螺貝」を力イッパイ吹いてくれた。「法螺貝」は難しいというが、なかなか上手だった。パチパチ。



バックは 2023/12/29 年末に上った焼岳南峰



法螺貝行者

行者と分かれて北峰山頂はすぐだった。バンザイ！！着いた！！10名程居た。天気はサイコーで雲ひとつなく素晴らしい景観だった。360度見渡せる。

南に昨日、高原散策した乗鞍岳、西に霞沢岳、北に上高地・前穂高岳・奥穂、小さな槍ヶ岳、笠ヶ岳、西に白山が遠望出来た。

「富士山も見えるよ」と横を見ると確かに霞沢岳の右にちょっとだけ見えた。(ネットなどでは、殆ど見えないような感じ)思わず教えてくれた方に「私たち、富士山の麓の静岡県長泉町から来ました」というと、「そうですか、私たちは名古屋から来ました」とのこと。「同じ方向から来たんだ」と思った。ご夫婦は2時発の日帰りだった。



## 山頂

### 活火山は怖い、そそくさと下山

無事、山頂に上ったことを歓び、写真を撮って歓声を上げた。素晴らしい山頂でユックリしたいが、何しろ活火山。油断は禁物。

おにぎりを一つほおばり名残惜しいが下山開始。下り始めると、下から続々と登山者が上って来た。山頂は広くないので正解だった。連休で好天なので皆、上りたくなる。「もう下りですか？早く上ったんですね」と声を掛けられる。

まだ、下の方で「法螺貝」が時々聞こえる。上って来る人のリクエストに応えているのかな。それを楽しんでいるようだ。絶え間なく上って来る人に道を譲ったり譲られたり、下山を急いだ。



いつもの山だと、上っている間に下山していることが、時差ボケを感じる不思議な感覚で登山口 11時着。

駐車場は溢れ下の林道にも停めてあった。結局、今日の登山者は150名か？

昨日の宿、沢渡「ともしび」で500円の温泉に浸かり、松本「十字路」で昼食を済ませ帰静した。

素晴らしい山でした。皆さまに感謝致します。